

4年1組		指導者	〇〇〇〇	教科等	音楽科	
題材	題材名等	旋律の特徴を生かして歌おう				
	題材の評価規準 (目標)	知識・技能	○“とんび”の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った音楽表現で「とんび」を歌うために必要な、呼吸に気を付けて、自然で無理のない歌い方を身に付けて歌っている。			
		思考・判断・表現	○“とんび”の旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと 感じ取ったこととの関わりについて考えている。 ◆聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりから、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。			
		主体的に学習に取り組む態度	○“とんび”の旋律の特徴を生かして歌う学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら進んで歌唱の学習活動に取り組もうとしている。			
	題材の学習展開					
	導入	<input type="checkbox"/> 題材の学習計画を立て、学習の見通しを持つ ・“とんび”の歌詞や旋律と出会う				
	展開	<input type="checkbox"/> 目的に応じて、聴き取ったことと感じ取ったことをもとに、どのように歌うかについて、曲想や音楽の構造や歌詞の内容を根拠にまとめ、交流する				
終末	<input type="checkbox"/> 題材全体を振り返り、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸に気を付けて、自然で無理のない歌い方を身に付けて歌う					

本時 (2/全3時間)	ねらい	9小節～12小節の「ピンヨロ～」の歌唱表現について、「旋律」の特徴（「呼びかけとこたえ」）から「強弱」を工夫し、 <u>どのように歌うかについて自分の考えをもてる</u> ようにする。 （下線部・・・評価規準【◆思考・判断・表現 ワークシート記述】）			
	学習過程	「めあて」や『課題』の確認（「音楽発」） 「“とんび”を歌い、前時の学習を振り返るとともに、本時のめあてから学習の見通しをもつ」			
		本時で学んだことの『まとめ』や「振り返り」（「音楽着」） 「“とんび”を歌い、曲にふさわしい表現で歌うことができたか振り返る」			
努力を要す状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】			
	歌詞が表す情景を意識せずに、ただ単に大きな声で歌っている	“とんび”が飛んでいる様子について、「遠くかな？近くかな？」など想像力を膨らませてあげる			